

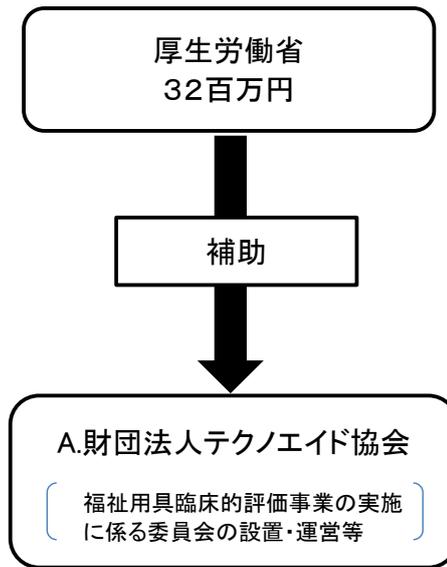
平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	テクノエイド協会事業費		担当部局庁	老健局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度		担当課室	振興課		振興課長 川又 竹男		
会計区分	一般会計		施策名	IV-5-2 高齢者の介護予防・健康づくりを推進し、生きがいがづくり及び社会参加を推進する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	予算補助		関係する計画、通知等	テクノエイド協会事業費補助金交付要綱(平成23年3月30日付厚生労働省発老第0330第3号)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	高齢者による福祉用具の誤操作、重大事故が多発していることから、利用者が使用する場面(臨床)を想定しての客観的指標に基づく安全性・操作性(=使い勝手等)に関する評価、公表及び情報提供を行う環境整備を推進し、福祉用具の使用にあたっての安全性、利便性を確保する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	本事業はテクノエイド協会を事務局として、厚生労働省が別途委託する評価機関と連携し、利用者が福祉用具を使用する場面を想定した、評価の実施及び公表を実施するものである。 ・福祉用具の評価基準の策定 ・厚生労働省が委託した評価機関において評価を行った結果に基づく評価結果の確定 ・厚生労働省が委託した評価機関の育成・指導 ・事業の実施に必要な委員会の設置 ・事業及び事業で評価を受けた福祉用具の情報収集・情報提供							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	40	40	32	31	31	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	40	40	32	31	31	
		執行額	40	38	32			
	執行率(%)	100%	95%	100%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	認証件数 ※平成21年度より事業見直しのため、平成20年度以前の実績なし		成果実績	件	—	41	32	88
			達成度	%	—	84%	51%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	認証委員会において審議される評価件数		活動実績 (当初見込み)	—	—	41	32	—
					—	—	(63)	(88)
単位当たり コスト	(1百万円/件)		算出根拠	単位あたりコスト=執行額/認証件数 1百万円=(31百万円/32件)				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	補助金	31	31	人件費の見直しによる減				
	計	31	31					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	メーカーからの臨床的評価の申し込みが減少したところであるが、申し込みの増を図るため、メーカー説明会の開催や評価対象須目の拡充を行った。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>毎年度、国庫補助金により実施した事業実績(内容、頻度、規模等)及び国庫補助金の用途の明細について、(財)テクノエイド協会に実績報告(内容、頻度、規模等)及び国庫補助金の用途の明細について、(財)テクノエイド協会に実績報告を提出させ用途を確認している。福祉用具については、製品欠陥、誤使用による事故が多発しており、使用に際しての安全性・操作性等の確保に取り組んでいるところである。テクノエイド協会は、臨床的評価事業における評価結果の確定や評価基準の策定等、事業の取りまとめ機関であるが、平成22年度予算では効率化を図る観点から、事業運営に必要な委員会や会議に要する経費等について見直しを図った上で2割相当額を減額して計上した。また、平成23年度予算でも32万円減額して計上しており、今後、評価件数の増加が想定される中、必要最小限の所要額を計上しているところである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>・事業費全体に占める管理コストの割合が大きいことから、管理費の見直しを行うこと</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>・管理費(人件費)の見直しにより予算額を減額した(反映額:▲0.4百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

【平成22年度】



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.(財)テクノエイド協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	委員謝金・臨時職員賃金	25			
旅費	委員旅費・職員旅費	1			
庁費	印刷製本費・通信運搬費	6			
計		32	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	(財)テクノエイド協会	(財)テクノエイド協会を事務局として、厚生労働省が別途委託する評価機関と連携し、利用者が福祉用具を使用する場面を想定した、評価の実施及び公表を実施するもの。	32	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					